

< 10月・11月の行事予定 >

10 月		11 月	
曜日	行 事	曜日	行 事
1 (火)	後期授業開始	1 (金)	
2 (水)	通信制レポート〆切 (農・簿①)	2 (土)	
3 (木)		3 (日)	文化の日
4 (金)		4 (月)	振替休日
5 (土)		5 (火)	(月)①～④授業
6 (日)		6 (水)	通信制レポート〆切 (フード③)
7 (月)		7 (木)	
8 (火)		8 (金)	
9 (水)	↑ 修学旅行 (朝出発)	9 (土)	高認試験
10 (木)		10 (日)	"
11 (金)	↓ 後期遠足 (朝出発)	11 (月)	
12 (土)		12 (火)	
13 (日)		13 (水)	運動会予行
14 (月)	体育の日	14 (木)	通信制レポート〆切 (農・簿③)
15 (火)	通信制レポート〆切 (フード②)	15 (金)	
16 (水)	↑	16 (土)	運動会 ★ 
17 (木)	← 秋季休業	17 (日)	通信制スクーリング
18 (金)	↓	18 (月)	振替休日
19 (土)		19 (火)	公開授業
20 (日)		20 (水)	(木)①～④授業
21 (月)		21 (木)	(水)②・③授業、会場準備
22 (火)	即位礼正殿の儀	22 (金)	定通部会研究協議会 ((水)①授業)
23 (水)	通信制レポート〆切 (農・簿②)	23 (土)	勤労感謝の日
24 (木)		24 (日)	
25 (金)		25 (月)	
26 (土)		26 (火)	後期中間考査発表
27 (日)	通信制スクーリング	27 (水)	通信制レポート〆切 (フード④)
28 (月)		28 (木)	
29 (火)		29 (金)	
30 (水)		30 (土)	
31 (木)			

- ・★印は20:00前後に学校終了予定です。
- ・修学旅行は、10月9日(水)に出発します。7:30までに第2グラウンドに集合して下さい。旅程等の詳細につきましては、後日改めて連絡いたします。
- ・残留生徒は、10月11日(金)後期遠足です。学校行事で全員参加が原則です。
- ・11月19日(火)は公開授業です。生徒の学校での様子を是非ご覧下さい。
- ☆11月22日(金)は、始業時間が16:35です。アルバイトをしている人は、シフト等確認のうえ、欠席したり遅れたりすることのないよう調整して下さい。なお、勤務先への協力依頼状を作成しておりますので、必要な場合は、担任にお申し出ください。

第68回愛媛県定通制高等学校総合体育大会

保健体育科 河端 佳克

9月1日(日)、令和元年度 第68回愛媛県定通制高等学校総合体育大会が、愛媛県総合運動公園体育館、補助体育館、陸上競技場と砥部町ゆとり公園体育館(本校参加種目分)で開催されました。愛媛県下13校249人の参加でしたが、観覧席後方から見ると、開会式では、白地に「新居浜西」の緑の文字が見事に映える本校のTシャツが、圧倒的な存在感を示していました。優勝杯返還でも、陸上競技女子、バスケットボール男女、卓球女子の4種目で、優勝カップを返還しました。連続優勝校の表彰でも、バスケットボール男子が、3年連続優勝で受賞しました。その後は、各種目それぞれの会場で練習の成果を出すべく、力いっぱい競技を行いました。

当日9名の欠席者がいたのは残念でしたが、参加した生徒のみなさんは本当によく頑張っていました。今年の夏休みも猛暑でしたが、その中でも各部ともに頑張っていて練習が行われており、その成果が好成績につながったのではないのでしょうか。朝早くから遅くまで、本当にお疲れさまでした。主な成績は次のとおりです。

●陸上競技

男子 総合3位・トラック3位・フィールド3位

100m 1位:松木天斗(12秒00)、5位:松本悠佑(13秒86)

やり投 1位:井下 圭(29m25)

砲丸投 3位:河野遼人(6m69)

走幅跳 6位:宮崎柊斗(3m77)

●バスケットボール

男子 1位(白石、桑原、幸野、平山、細川、得能、安藤、村上蒼) **4年連続優勝**

決勝:本校 36-28 松山東 準決勝:本校 55-29 未来

女子 認定優勝(伊藤陽、近藤、浦、塩原、曾我部) **3年連続優勝**

●卓球

男子 個人 3位:平林 賢

団体 2位(新居田、和田、平林) 決勝:本校 2-3 松山工業

準決勝:本校 3-0 大洲肱川 1回戦:本校 3-2 川之江

女子 個人 ベスト8:高橋 遼、藤原沙和

団体 1位(猪川、石水、高尾、藤原沙) **2年連続優勝**

リーグ戦2勝(本校 3-2 未来、本校 3-1 松山南)

●バドミントン

男子 シングルス 1位:大原龍二、3位:高橋永次

ダブルス 2位:伊藤鈴之助・鈴木公貴

女子 シングルス 1位:伊藤智実、2位:横川姫花

ダブルス 1位:中野内胡桃・檜垣明花

山あり谷あり

英語科 武智 優子

「いつもうまくいく。」と思える人っているのでしょうか。他人からみると順風満帆に見える人でも、本人はそう思っていないのではないのでしょうか。

そもそも、うまくいかない経験をしていないと、うまくいってるかどうかはわからないのではないのでしょうか。どん底を知っている人はそこから上昇していくことができる。上昇していると感ずることができる。まあ、どん底まで行くと、上昇するしかないですから。

The darkest hour is just before the dawn.(夜明け前が一番暗い、一番暗い時間が夜明けのじき前)とは、有名な西洋のことわざです。夏休み前の生徒集会で、教頭先生がお話しされていましたね。もう、これ以上無理と思ったら、それは上昇のチャンスです。そこで踏ん張れば、状況は上向きに変わります。踏ん張れるかどうか、ポイントとなるということだと思います。

「あ、今だめだ。」という状況に陥ったら、さらにだめな状況まで落ちてみるのも一手かもしれませんね。ただし、それは、最後の最後で踏ん張れる自信のある人でないと危険で、なかなかできることではないかも知れませんが…

いずれにしても、自分の生き方を決めるのは自分でしかない。人生は山あり谷ありだから、面白い。逆境はないほうが楽ですが、皆さんには、山あり谷ありの人生のほうが、生きるかがあると思って、逆境にめげずに前へ前へと進んで行って欲しいです。そういう考え方ができれば、きっと充実した未来が手に入ります!